

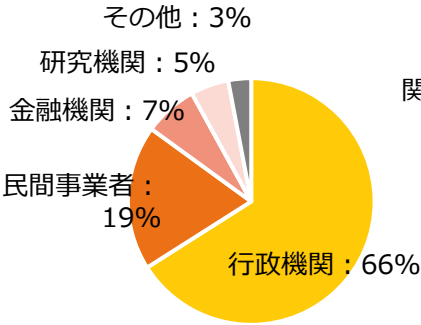
令和7年度PFS/SIB首長セミナー 事後アンケート結果概要①

開催日：令和7年11月28日 回答者数：68人

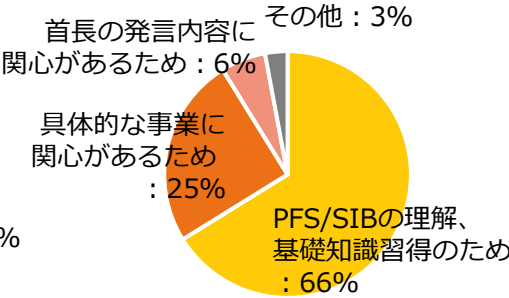
参加者概要

参加者は66%が行政機関で、PFS/SIBの基礎知識があり、より理解したいという方の参加が多い。

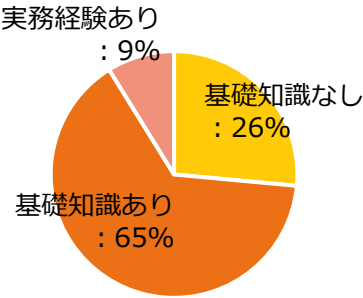
回答者所属種別



参加動機



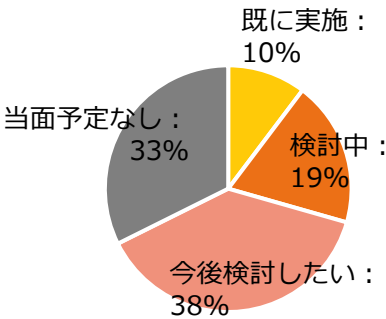
PFS/SIB知識・経験



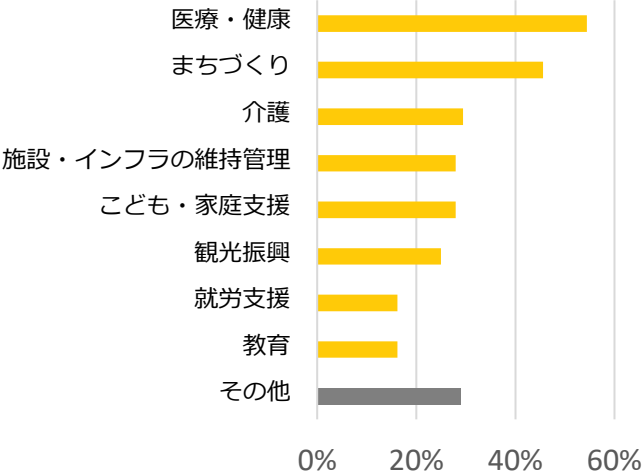
アンケート結果

参加者の86%がPFS/SIBへの関心・意欲が高まった。今後取り上げて欲しいテーマは導入検討における具体的な課題が多い。

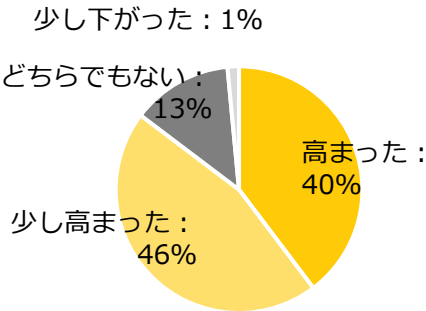
PFS/SIBの検討状況



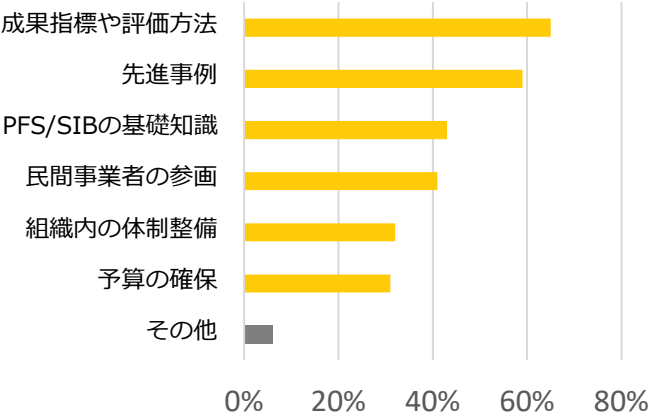
関心のある事業分野 ※複数回答可



PFS/SIBへの関心・意欲



今後取り上げて欲しいテーマ ※複数回答可

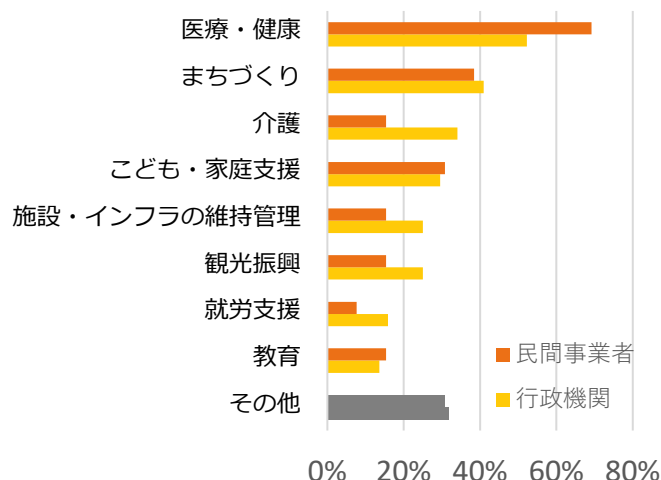


令和7年度PFS/SIB首長セミナー 事後アンケート結果概要②

行政機関と民間事業者別 ※行政機関 n=45 民間事業者 n=13

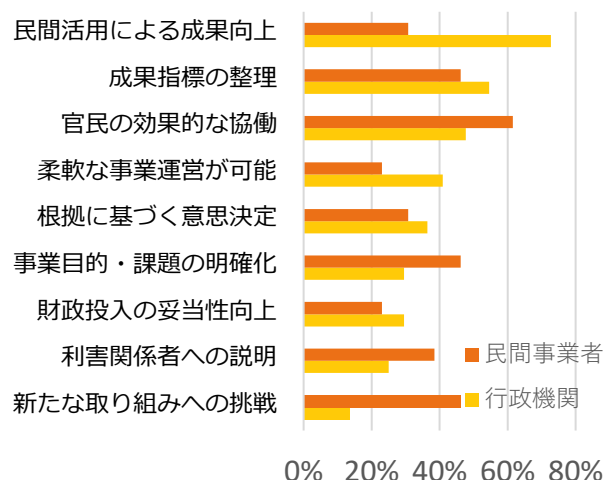
関心のある事業分野 ※複数回答可

両者ともに「医療・健康」への関心が最も高い。行政は「まちづくり」「介護」への関心も分散しているが、民間事業者は「医療・健康」に集中している。



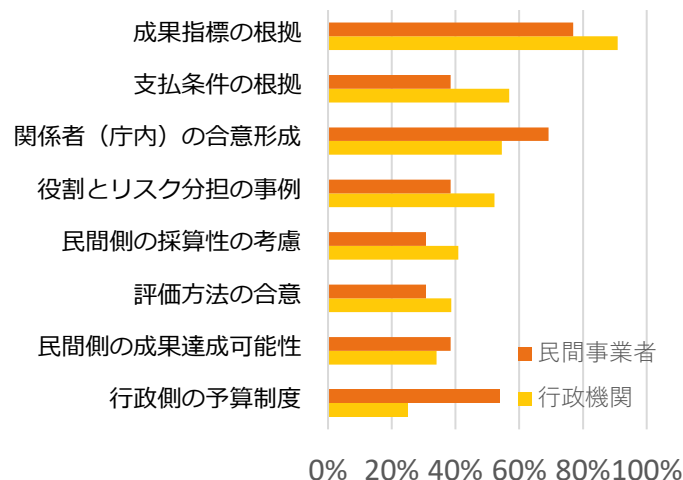
取り組むメリット ※複数回答可

行政機関は「民間活用による成果向上」を最も重視しているが、民間事業者は「官民の効果的な協働」を最も重視しており、視点の違いがある。



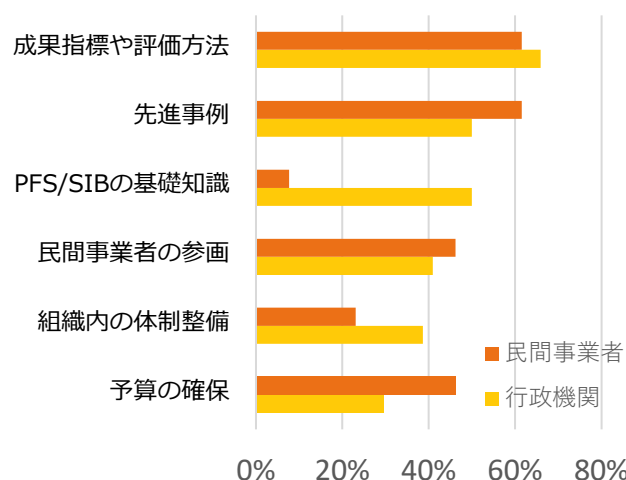
合意形成における重要な要素 ※複数回答可

両者ともに「成果指標の根拠」を最重視しており、民間事業者は「関係者（庁内）の合意形成」や「行政側の予算制度」への関心も比較的高い傾向にある。



今後取り上げて欲しいテーマ ※複数回答可

両者ともに「成果指標や評価方法」や「先進事例」への関心が高い。民間事業者は、「PFS/SIBの基礎知識」への要望が低く、より実践的な要望が高い。



自由記述 ※一部抜粋

より具体的な内容を含め、今後も継続的な普及啓発を希望するといった要望が多い結果となった。

- ・ これからの小規模自治体運営の重要な手法だと認識した。今後の情報発信に期待する。（行政機関首長）
- ・ SIBの組成実務について学びたい。先進事例が少ないので今後紹介してほしい。（行政機関）
- ・ 担当者レベル感での実務的な情報提供など定期的な発信を期待する。（行政機関）
- ・ 民間事業者の参画意欲を醸成するような取り組みが必要ではないか。（金融機関）
- ・ 自治体と手探りでPFS事業化を検討しているが、アウトカムの設定がまだ明確ではない。現場の生の声を聞けて非常に有意義だった。（民間事業者）